

こうはん 伝染性紅斑(リンゴ病)とは【解説】

伝染性紅斑とは、ヒトパルボウイルスB19による感染症です。
患者の年齢は、就学前後の小児を中心に幼児、学童がほとんどです。

【臨床症状】

感染してから10～20日後に、両頬に境界鮮明な赤い発疹が出現し、続いて、手や足に網目状の発疹がみられます。

成人では、関節痛や頭痛を訴えることがあります。

また、妊娠中に感染した場合、まれに胎児に影響がでることがあります。

【感染経路】

咳などによる飛沫や接触で感染します。

発疹が現れる7～10日ほど前に、微熱や風邪のような症状がみられ、この時期にウイルスが最も多く排泄されます。

発疹が現れた時には、ウイルス排泄はほとんどなく、感染力はほぼ消失していません。

【治療】

特別な治療法はなく、対症療法のみです。

【予防】

手洗いや咳エチケットを心がけましょう。

また、妊娠中の方、妊娠の可能性のある女性は、できる限り、風邪様症状のある方との接触を避けるよう注意しましょう。

(咳エチケット)

- ・咳やくしゃみが出る時はマスクをすること
- ・マスクがない時は、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れること
- ・手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと
- ・咳をしている人にマスクの着用を促すこと 等